



みるみる! ろいやるん!



今回は「うどん」についてのお話です。
皆様あまりイメージがないかもしれませんが、埼玉県は香川県に次ぐうどんの生産量全国第二位の「うどん大国」なのです!一本うどん、すつたて、ソース焼きうどん、武蔵野うどん、肉汁うどん…等、たくさんあります。

武蔵野うどんは、元々は武蔵野地方の郷土料理で、コシの強い麺をさしています。近年は、このエリアで肉汁につけて食べるうどんを総称して「武蔵野うどん」と呼ぶようになったとか、所沢はもともと台地に位置し、稲作に適さない土地柄であった為、稲の代わりに麦やサツマイモが多く作られてきました。そのために所沢では麦を使った手打ちうどんが古くから親しまれてきました。

「うどんが打てて一人前」とも言われたそうです!
現在は所沢市内に多くのうどん店があり、地域の人に親しまれています。

その証拠と言ってはなんですが、「所沢肉汁うどんラリー」や2017年から毎年行われている「西武線沿線うどんラリー」等、様々なうどんのスタンプラリーが企画されているようですね。



(文/看護師・藤倉)



vol.61

令和3年
1月1日発行

所沢ロイヤル病院

はなみずき

病院理念

私たちは安全で良質な医療、
心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。

所沢ロイヤル・ワム・タウンを
宜しくお願ひします



LOYAL WAM TOWN(ロイヤルワムタウン)のWAMとは、
Welfare And Medicalの略で「福祉と医療」を意味します。

お知らせ 感染対策強化月間を継続!

1月以降も当面の間、感染対策強化月間を継続していきます。

例年、さまざまなイベントを企画しておりますが、感染対策徹底により自粛しております。
何卒ご了承ください。イベント再開の目処が立ちましたら改めてお知らせいたします。

編 新年明けましておめでとうございます。

集
後
記

今年の干支は「丑」ですね。牛は古くより大事な農業を地産に最後まで手伝ってくれる大事な存在とされており、その様子から、丑年は「我慢(耐える)」、「発展の前触れ(芽が出る)」を表す年になると言われているそうです。2020年は新型コロナウイルスにより生活が一変し、耐え忍ぶ事が多い一年であったと思いますが、世界ではワクチンの開発・接種が始まる等、少しずつ光明が見えてきています。今年は丑年という事で、発展していける年になると良いですね。

(文/リハビリテーション科・奥倉)



発行

医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院 広報委員会 はなみずき編集部
〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11 TEL:04-2949-3385 FAX:04-2949-7872

新年のご挨拶

院長 金子 正二

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。昨年は、4月に新型コロナウイルス感染症が発生し、6月15日に収束となりましたが、この間入院を受けられず、地域の先生方、住民の皆さんに多大なご心配、ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。またこの間に多くの励ましと、ご支援を賜りましたこと心から御礼申し上げます。

病院としても、この経験を生かして感染対策に十分に注意し、入院患者さんを受け入れております。今後も地域の皆様の期待に応えられるように職員一丸となって努力してまいります。

所沢ロイヤル病院は、地域に信頼される療養型病院として回復期、慢性期を担う病院としてこの地域で貢献して行く責務があると思います。職員全員がその覚悟で頑張っております。本年も皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願い致します。新しい年が、希望に満ちた年であるよう祈ります。



看護部長 砂川 鶴子

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、未曾有の危機にさらされた本当に辛い一年でした。当院でも4月にクラスター発生という緊急事態に陥りましたが、多くの方々から心遣いのご支援やご協力をいただき、乗り切ることができましたことに、改めて感謝申し上げます。

看護部では「心のこもった寄り添うケア」を目標に、患者様の傍に寄り添い、温もりのある手を添えるなど、少しでも穏やかに過ごしていただきたいと願い、ユマニチュードやタッチケアを実践しています。

しかし患者様が何よりも望まれているご家族様の面会は、未だ制限されたままで、心苦しい限りです。穏やかな普通の生活を取り戻すには、もう少しばかり時間がかかりそうですが、身に着けた感染予防策は、今後も自身や大切な人を守るために必ず役に立つと思いますし、人と人との繋がりがいかに大切かを、改めて気付かされる機会になったのではないのでしょうか。大変な経験から学んだ多くのことを最大限に活用し、患者様に安心・安全な医療を提供するため、職員一丸となって努力いたします。

2021年が平穏で明るい年でありますよう祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



職員一同、がんばります!

エアネス 【低濃度オゾン発生装置】

当院の新型コロナウイルス 感染症対策情報

オゾンでも、オゾンがつくる、
清々しい空気環境。



現在、院内へ入られる方すべてにサーモグラフィーによる体温測定・手指消毒・体調確認等を徹底しております。また、外来診察室周辺や診察室等に空気中のウィルスを除去する目的として新たに、「低濃度拡散オゾン」と「マイナスイオン風」発生装置Airness(エアネス)を設置しております。オゾンにはウィルスを分解する作用があります。実験データでは、インフルエンザウィルス等は2時間で97~99%程除去できる事が確認されています。その他、定期的な院内設備消毒・換気を実施しウィルス対策用に工夫しております。

(文/経理課・津田)

NST 【栄養サポートチーム】

Nutrition Support Team

適正な栄養管理を行うことで治療効果を高め、
当院の医療の質の向上を目指す。



今回は「NST」について紹介します。

NSTとは、栄養サポートチームの略です。当院の栄養サポートチームでは主治医、担当看護師、担当管理栄養士などから依頼を受けて、主に低栄養の患者様を対象とし、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士などの多職種で構成されたチームにより週1回、カンファレンスと回診を行い、それぞれの専門知識と技術を活かしながら、患者様一人一人に合わせた栄養治療をサポートしています。また、院内の他のチームとも連携を行っています。

(文/栄養科・仏他)